

ルール セットとルールの管理

- ルールセットとルールについて、1ページ
- ルールセットを設定するためのタスクリスト、2ページ
- ・ ルール セットの作成, 3 ページ
- ・ ルール セットへのルールの追加, 3 ページ
- ルールの変更, 7 ページ
- ルールセット内のルールの順序変更, 7 ページ
- ルールセットのテスト, 8ページ
- ルールセットの削除, 9ページ
- ルール セットの有効化と無効化, 9 ページ
- パーソナル着信転送ルールを適用するための基本転送ルールの設定, 11 ページ

ルール セットとルールについて

パーソナル着信転送ルールを使用すると、着信コールを受信する方法と場所を統合できます。 パーソナル着信転送ルール Web ツールを使用して、発信者の識別情報、時刻、および会議スケ ジュールに基づいて、着信コールを転送および発信者確認するルールを作成できます。また、 Cisco Unity Connection が選択した着信コールを通知先または通知先グループに転送するように設 定することもできます。

ルールの特性は、必要に応じて変更できます。たとえば、同僚からの着信すべてを携帯電話に送 信するルールを作成した後で、そのルールを同僚以外からの着信すべてを携帯電話に送信するよ うに変更することができます。

「着信はすべてボイスメールに送信する」などの一般的なルールにもできますが、「午前9:00から10:00の間にジェーン・スミスから着信があった場合は携帯電話に送信し、発信者名を確認する」などの具体的なルールにすることもできます。

ルールセットは、1つまたは複数のルールのグループで、スケジュールに応じて、特定の日付/曜日および特定の範囲の日付/曜日に有効にできます。 ルール セットで指定されている日付または 曜日になると、Connection は、ルールセットを有効にし、そのルールセットに照合して着信の処 理を始めます。 Connection では、日付の範囲に対して有効になっているルール セットは、1つの 曜日に対して有効になっているルール セットに優先します。

Connection は、着信コールの条件に最初に一致するルール セット内のルールを使用して、その着 信に適用します。したがって、設定内でルールを並べる順序は重要です。一般に、ルールは最も 固有性の高いものから最も固有性の低いものへと並べます。

ルール セットを正常に設定するには、ルール セットを設定するためのタスク リスト, (2ページ)を参照してください。

ルール セットを設定するためのタスク リスト

ルールセットを正常に設定するには、次のタスクを記載順に実行します。

- ルールで使用する個人連絡先、発信者グループ、個人通知先、および通知先グループをすべて 設定します。次の適切なトピックを参照してください。
 - ^[] User Guide for the Cisco Unity Connection Messaging Assistant Web Tool ^[] O ^[] Managing Your Contacts ^[] (http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/user/guide/assistant/b_8xcucugasst.html)
 - •発信者グループの作成
 - ・個人の通知先の作成
 - 通知先グループの作成
- 2 ルールセットを作成します。 ルールセットの作成、(3ページ)を参照してください。
- 3 ルール セットにルールを追加します。 ルール セットへのルールの追加, (3ページ)を参照 してください。
- 4 ルールを正しい順序にします。 ルール セット内のルールの順序変更, (7ページ)を参照し てください。
- 5 転送ルールを適用する前に Connection が内線番号を呼び出すようにする場合は、パーソナル着 信転送ルール Web ツールの [設定]>[ルール設定]ページで該当するチェックボックスをオンに します。 ルール処理設定の変更を参照してください。
- 6 必要に応じて、ルール セットをテストします。 ルール セットのテスト, (8ページ)を参照 してください。
- 7 必要に応じて、ルールを変更します。ルールの変更、(7ページ)を参照してください。
- 8 ルールセットを有効にします。 ルールセットの有効化と無効化、(9ページ)を参照してください。

9 パーソナル着信転送ルールを適用するように基本転送ルールを設定します。パーソナル着信転 送ルールを適用するための基本転送ルールの設定、(11ページ)を参照してください。

ルール セットの作成



- **ステップ1** パーソナル着信転送ルール Web ツールの [ルール] メニューで、[着信転送ルール セットの表示] を選択します。
- **ステップ2** [着信転送ルールセットの設定]ページで、メニューバーの下にある[新しいルールセット]アイコンを選択します。
- ステップ3 [ルールセット]ページで、新しいルールセットの名前を入力します。状況に適合し、覚えやすい 名前を選択します(たとえば、「出勤日」という名前のルールセットを月曜日から金曜日にアク ティブにし、「アフリカ旅行」というルールセットは、その旅行日(暦日)の間アクティブにし ます)。
- **ステップ4** Media Master で、[録音] を選択して、ルール セットの名前を録音します。 Cisco Unity Connection は、電話でルール設定にアクセスしたときに、この名前を再生してルール セットを識別します。
- ステップ5 録音の終了後、[停止]を選択します。
- ステップ6 [保存]を選択します。

ルール セットへのルールの追加

ルール セットを作成後、そのルール セットに1つまたは複数のルールを追加します。

注意 ルールを追加する前に、ルールで使用する連絡先、発信者グループ、個人通知先、または通知 先グループをすべて作成する必要があります。これらが存在しないと、ルールを正しく設定 できません。

- **ステップ1** パーソナル着信転送ルール Web ツールの [ルール] メニューで、[着信転送ルール セットの表示] を選択します。
- **ステップ2** [着信転送ルールセットの設定]ページで、そこにルールを追加するルールセットの名前を選択します。
- **ステップ3** [ルール セット] ページの [転送ルール] セクションで、[ルールの追加] を選択します。
- ステップ4 [ルール]ページで、[呼び出しが]セクションに適切な情報を入力します。Connectionが呼び出し、 または発信者を識別するときにこの情報を使用します。少なくとも、着信コールの転送先となる 通知先、通知先グループ、またはボイスメールを選択する必要があります。次の表を使用して、 フィールドの値を決定します。

フィールド	考慮事項
[送信元]	[発信者]、[発信者グループ]、[電話番号]、[番号の種類] フィールドとともに使用 して、ルールにおいて発信者の識別情報に対する条件を設定します。
	[送信元] チェックボックスをオンにして、必要に応じて、リストの[次の発信元] または[次の発信元以外]を選択します。
[発信者]	発信者をルールに追加するのに使用します。
	a. [発信者] チェックボックスをオンにしてから、[発信者の追加] を選択します。
	b. [連絡先検索] ページで、Connection ディレクトリ内のユーザのリストを検索す るか、連絡先リストにあるユーザのリストを検索するかに応じて、適切なタブを 選択します。Connection ディレクトリ内のユーザと管理者が定義した連絡先の両 方が検索できます。管理者が定義した連絡先は、検索結果リストの名前にアスタ リスク(*)付きで表示されます。
	c. 名前または名前の一部を入力して、[検索]を選択します。
	d. ルールに追加する発信者の横にあるチェックボックスをオンにします。 複数の チェックボックスをオンにすると、複数の発信者を一度に追加できます。
	e. 必要に応じて、[ユーザの追加] または [連絡先の追加] を選択します。
	f. 発信者をルールから削除するには、その名前を選択し、[選択項目の削除]を選択します。
[発信者グ ループ]	発信者グループをルールに追加するのに使用します。
	[発信者グループ] チェックボックスをオンにし、リストにある発信者グループを 選択します(発信者グループをルールで使用する前に、発信者グループを作成す る必要があります)。

I

フィールド	考慮事項
[電話番号]	電話番号をルールに追加するのに使用します。
	[電話番号] チェックボックスをオンにし、Connection で着信に関連付ける番号を 入力します。Connection は、着信した電話番号が、フィールドに入力した番号と 完全に一致した場合にのみ、ルールを処理します。複数の電話番号と一致させる には、ワイルドカード文字 X および*を使用します。
	 X文字は、0~9の間の1桁の数字と一致します。たとえば、パターン9XXX は9000~9999の電話番号の範囲と一致します。
	 アスタリスク(*)は、連続する数字と一致します。たとえば、パターン 5556304*は5556304、55563040、55563041、5556304100などの電話番号と一 致します。
[番号の種類]	必要に応じて、Connection が発信者を既知の電話番号(Connection ユーザ、連絡 先、または Connection 管理者が定義した連絡先)であるか、あるいは未知の電話 番号(外部の発信者)であるかを識別したのに基づいて、発信者を含めるか、あ るいは除外するかに使用します。
	[番号の種類]チェックボックスをオンにして、必要に応じて、リストの[既知の電 話番号]または[不明な電話番号]を選択します。
[着信した時	Connection が着信コールにルールを適用する時間を設定するのに使用します。
間]	[着信した時間]チェックボックスをオンにして、必要に応じて、リストの[着信した時間]または[着信しなかった時間]を選択します。時間と分のリストで時間範囲を選択します。
[会議中であ るとき]	Connection が、着信にルールを適用する場合に、会議に参加しているかどうかを Microsoft Outlook のカレンダーを使用して判定するのに使用します。Connection は Outlook の会議時間が [予定あり] とスケジュールされているときは、ユーザが 会議中であると見なします。 [仮の予定] に設定されている会議、[空き時間]、ま たは [外出中] はすべて Connection では考慮されません。
	 [会議中であるとき]チェックボックスをオンにして、必要に応じて、リストの[会議中であるとき]または[会議中ではないとき]を選択します。 (注) この機能は、一部のシステムでは利用できません。この機能が使用可能かどうかについては、Connectionの管理者に問い合わせてください。

ステップ5 [呼び出しの転送先] セクションに、Connection が呼び出しを転送するときに使用する適切な情報 を入力します。ルールを有効にするためには、通知先、通知先グループ、またはボイスメールの いずれかを指定する必要があります。次の表を使用して、フィールドの値を決定します。

フィールド	考慮事項
[通知先]	Connection が、指定した通知先に呼び出しを転送するのに使用します。
	 [通知先]を選択してから、リストの通知先の名前を選択します。 (注) SMS 通知先と SMTP 通知先は[通知先]リストには表示されません。 ルールに使用するには、デバイスは、少なくとも1つの電話番号を 持つ通知先グループに含まれている必要があります。
[通知先グループ]	Connection が、指定した通知先グループに呼び出しを転送するのに使用します。
	[通知先グループ]を選択してから、リストの通知先グループの名前を選択します。
[ボイスメール]	Connection が、ボイスメールに呼び出しを直接転送するのに使用します。
	[ボイスメール]を選択します。
[コールの発信者名	Connectionが、ルールを適用する着信をスクリーニングするのに使用します。
を確認する]	[コールの発信者名を確認する] チェックボックスをオンにします。
	 (注) このオプションは、Connectionの管理者がスクリーニングオプションを有効にし、かつ Messaging Assistant Web ツールの [通話保留と発信者名確認]オプションページで発信者名確認オプションが設定されている場合に限り使用できます。 定義されているどのルールにも一致しない着信は、有効になっている任意の発信者名確認オプションを使用して、プライマリ内線番号に転送されます。これらの着信の発信者名確認をしない場合は、すべての着信に一致するワイルドカード文字を使用してルールを作成し、ルールセットの最後のルールとして設定し、[コールの発信者名を確認する] チェックボックスをオフにします。

- **ステップ6** [プレビュー] セクションで、[プレビューのアップデート] を選択してルールのテキスト バージョ ンを表示し、ルールをルール セットに追加する前に、そのルールが正しいことが確認できます。
- **ステップ7** [保存]を選択して、ルールをルール セットに追加します。
- ステップ8 このセットにさらに追加するルールがあれば、手順1~7を繰り返します。

ルールの変更

手順

- **ステップ1** パーソナル着信転送ルール Web ツールの [ルール] メニューで、[着信転送ルール セットの表示] を選択します。
- ステップ2 [着信転送ルールの設定]ページで、変更するルールを含むルール設定の名前を選択します。
- **ステップ3** [ルール設定]ページの[転送ルール] リストで、そのルール名を選択します。
- **ステップ4** [ルール] ページで、必要な変更を行います。 ルール セットへのルールの追加, (3 ページ)の表を使用して、フィールドの値を決定します。
- **ステップ5** [プレビュー] セクションで、[プレビューのアップデート] を選択してルールのテキスト バージョンを表示し、変更したバージョンが正しいことが確認できます。
- ステップ6 [保存]を選択します。

ルール セット内のルールの順序変更

ルール セット内のルールの順序は重要です。その理由は、Cisco Unity Connection では、ルールが リストの先頭から末尾に向けて順番に処理され、着信コールについて条件が最初に一致したルー ルだけが適用されるからです。

ルールセットに複数のルールがある場合、ルールは最も固有性の高いものから最も固有性の低い ものの順に並べて、必ず Connection が、より一般的なルールではなく、最も固有性の高いルール を着信コールに適用するようにします。

 ρ

:ント ルール セット内の1つのルールの優先順位を変更するには、[ルール セット]ページの [転送 ルール] リストでそのルールに変更を加えて、[優先順位のアップデート] をクリックします。 これに応じて、ルール セットの他のルールはすべて、優先順位が変更されます。

- ステップ1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [ルール] メニューで、[着信転送ルール セットの表示] を選択します。
- ステップ2 [着信転送ルールセットの設定]ページで、ルールセットの名前を選択します。
- **ステップ3** [ルール セット] ページで、[優先順位] カラムに数字を入力して、Connection で設定のルールが処理される順番を指定します(たとえば、「着信はすべてボイスメールに送信する」というルール

を最初に処理するには、1を入力します。「ジェーン・スミスからの着信は携帯電話に送信する」 というルールを2番目に処理するには、2を入力します)。

ステップ4 [優先順位のアップデート]を選択します。ルールは、それぞれの優先順位に応じて再度並べられ、 保存されます。

ルール セットのテスト

着信転送ルールのテスト機能ツールを使用して、Cisco Unity Connection がセット内にあるルール に基づいて着信コールを転送する状況を見ることができます。ルールを作成した後でルールセッ トを選択して、そのルールが特定の発信者または特定の時間に到達する着信コールに適用される かどうかを見ます。

着信転送ルールのテスト機能ツールは、着信転送の問題を診断する優れた方法でもあります。た とえば、着信コールが予想どおりに転送されなかった場合、実際の発信者の名前と着信が発信さ れた時刻と日付を入力します。このルールテスト機能は、ルールセットの中の Connection が着信 コールに適用する部分をつきとめるのに役立ちます。

着信転送ルールのテスト機能を使用して結果を得るには、テストするルールを含むルールセット が有効またはアクティブになっている必要があります。



(注) 着信転送ルールのテスト機能ツールを使用しても着信転送の問題が診断できない場合は、 Connectionの管理者に問い合わせてください。

- ステップ1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [ツール] メニューで、[着信転送ルールのテスト]を選択 します。
- **ステップ2** [着信転送ルールのテスト]ページで、テストに使用する着信コールの条件を入力または選択します。
 - ・発信者の名前または電話番号。既知のユーザ(Connection ディレクトリまたは連絡先内の ユーザ)についてテストする場合は、[発信者の選択]を選択してユーザを[着信転送ルール のテスト]に追加します。
 - 時刻。
 - 日付。
 - •年。
 - •ユーザが会議中かどうか。

このルールのテスト機能ツールを使用して正確な結果を得るために、日付を指定します。日付を 指定しなかった場合、このルールはデフォルトである現在の日付で評価されます。

ルールをテストする条件は任意の方法で組み合わせることができます。 たとえば、発信者、時刻、日付、および年を指定できます。 または、時刻と日付だけを指定することもできます。

ステップ3 [テスト]を選択します。

有効またはアクティブになっているルールを指定した着信条件に適用すると、Connection によってルールが表示されます。

有効またはアクティブになっていないルールを指定した着信条件に適用すると、Connectionによって一致するルールが見つからなかったことを示すメッセージが表示されます。

ヒント 着信転送ルールのテスト機能を使用して、着信が特定の方法で転送されない原因を診断 する場合は、幅広い条件を定義して開始します。たとえば、名前と日付を設定します。 ルールを幅広い条件に適用した場合は、条件を次第に狭くして、ルールがその着信に適 用されなかった理由をつきとめます。

ルール セットの削除

手順

- ステップ1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [ルール] メニューで、[着信転送ルール セットの表示] を選択します。
- **ステップ2** [着信転送ルールセットの設定]ページで、削除するルールセットの横にあるチェックボックスを オンにします。
- ステップ3 メニューバーの下にある [選択行の削除] アイコンを選択します。 ルールセットがアクティブになっている場合は、ルールセットが削除できないというエラーメッ セージが表示されます。
- **ステップ4** [OK] を選択してそのルール設定を削除します。

ルール セットの有効化と無効化

ルールセットの有効化とは、そのルールセットをアクティブにする日付または期間を設定することを意味します。 Cisco Unity Connection では、スケジュールを使用して、ルールを着信コールに 適用します。パーソナル着信転送ルール Web ツールで、アクティブにする期間を事前にスケジュー ルできます。

ルールセットの無効化とは、そのルールセットをアクティブにできなくすることを意味します。

Connection では、複数のルール セットを同一期間内に有効になるように設定できます。 複数の ルール セットが有効になっている場合、日付の範囲で有効になっているセットが、曜日によって 有効になっているセットよりも優先されます。 日付の範囲が適用できなくなった場合は、曜日に よって有効にされた設定が元に戻されます。 重複した日付に複数のルールセットを有効にするこ とはできません。

手順

- ステップ1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [ルール] メニューで、[ルール セットの有効化] を選択 します。
- **ステップ2** 日付の範囲に対してルール セットを有効にするには、次の手順を実行します。
 - a) [ルール セットの有効化] ページの [期間] セクションの、[ルール セット] カラム リストで有効 にするルール セットを選択します。 [有効] カラムのチェックボックスは、自動的にオンにな ります。
 - b) [開始日] カラム リストと [終了日] カラム リストにおいて、該当する日付を設定します。
 - c)別の行を追加するには、[期間の追加]を選択してから、手順aと手順bを繰り返して、追加の ルールセットに期間を指定します。 複数の期間を事前にスケジュールできます。次の例を参考にしてください。
 - ・休暇ルールセット、3月1~8日に有効にする
 - ・出張ルールセット、3月9~11日に有効にする
 - ・週労ルールセット、3月12~31日に有効にする

当日を含む期間に有効にされるルールセットだけがアクティブになります。

- d) [保存] を選択します。
- ステップ3 曜日に対してルールセットを有効にするには、次の手順を実行します。
 - a) [ルール セットの有効化] ページの [毎週] セクションの、[ルール セット] カラム リストで該当 する曜日に有効にするルール セットを選択します。 [有効] カラムのチェックボックスは、自 動的にオンになります。
 1つのルール セットを1つの曜日だけでなく複数の曜日(たとえば、毎週火曜日、毎週平日、 毎週末)に対しても指定できます。または、[毎日]を選択して、ルールセットをすべての曜日 に適用することもできます。
 - b) [保存] を選択します。
- ステップ4 ルールセットを無効にするには、次の手順を実行します。
 - a) [ルール セットの有効化] ページで、[有効] カラムのチェックボックスをオフにします。 または、[ルール セット] カラム リストの [なし] を選択します。
 - b) [保存] を選択します。

パーソナル着信転送ルールを適用するための基本転送ルー ルの設定

パーソナル着信転送ルールは、パーソナル着信転送ルールを適用するために、基本設定の代わり にアクティブな基本ルール(標準、オプション、または時間外転送ルール)が設定されている場 合にのみ使用されます。パーソナル着信転送ルール設定を作成して適用した後は、パーソナル着 信転送ルールを適用するように基本転送ルールを設定する必要があります。



Messaging Assistant Web ツールを使用して、次の手順を実行します(パーソナル着信転送ルール Web ツールではありません)。

- ステップ1 Messaging Assistant Web ツールの [設定] メニューで、[着信転送と発信者名確認] を選択します。
- **ステップ2** 転送ルールの表内で、パーソナル着信転送ルールを使用するために設定する基本転送ルールを選択します。
- **ステップ3** [この基本ルールがアクティブな場合] フィールド内で、[パーソナル着信転送ルールを適用] を選 択します。
- ステップ4 [保存]を選択します。
- **ステップ5** パーソナル着信転送ルールを使用するために設定する基本転送ルールごとに、手順1~4を繰り 返します。

٦